

放射性物質拡散に関する対応策について

平成 23 年 6 月 8 日
松戸市私立幼稚園連合会
会長 鈴木 悦朗

情報を正確に入手し、落ち着いた行動を

東日本巨大地震による福島原子力発電所事故の放射線の影響につきまして、チェーンメール、電子掲示板、ミニブログなどで、さまざまな情報が流れています。報道や行政機関のウェブサイト等の信頼できる情報源で真偽を確かめ、誤った情報に惑わされないようお気をつけください。また、国・自治体から出される情報を正確に入手し、落ち着いた行動をとることをお願いいたします。

松戸市私立幼稚園連合会では、4月18日、千葉県放射線量測定の公式モニタリングポストが市原市にしかないことを踏まえ、今後増えるであろう市民、特に乳幼児の保護者の不安に対応するため、松戸市に対して千葉県や国に放射線量の測定を要請、あるいは無理であれば、市独自に測定することを要請いたしました。

5月20日にようやく入手困難だった線量計が届き、5月23日より、携帯用簡易測定器において市内における放射線量の測定を開始し、5月25日よりホームページによる公開を開始いたしました。情報が錯綜する中で、何よりも市民の不安を取り除いていこう、たとえもし高い数値が出ても、市民のために情報を提供すべきと判断した松戸市の今回の姿勢は、神経質になっている市民も増えている中、頼もしいものであります。

5月10日の中部大学の武田先生のブログに「柏、松戸、流山、三郷のホットスポット」と指摘されて、全国から注目される中、高い線量が検出されるのかと思いましたが、高いところでも1時間あたり0.54マイクロシーベルト、平均値でも0.2~0.3マイクロシーベルトという予想していたより低い数値でした。

今後、松戸市では、東葛六市による「(仮称)東葛地区放射線量対策協議会」において共通の基準を検討していくこととなっているとのことです。

国、県、市では、学校における活動に支障のない暫定的目安値を、平成23年4月19日に文部科学省から発表された福島県内の校舎・校庭等の利用判断における暫定的な考え方の目安値である**1時間当たり3.8マイクロシーベルト以下**としております。しかしその後、文部科学大臣は、5月27日、福島県内の学校などで放射線量を低減させるための当面の対応を発表した中で、学校での屋外の活動を制限する放射線量の目安は、これまでどおり年間の累積で20ミリシーベルト以下(1時間当たり3.8マイクロシーベルト以下)としながらも、今年度は、当面、国際放射線防

護委員会で2007年に決められた**年間1ミリシーベルト以下（平常時）**を目指すと
しています。そして、土を取り除くことで放射線量を下げることが見込まれると
して、空間線量率が**1時間当たり1マイクロシーベルト以上の学校を対象に、土を
取り除く費用のほぼ全額を国が負担することを発表**しました。

まだ計測していない民間保育園や私立幼稚園でも設置者の了解を得て6月中に
は測定し、全市立小中学校、高校の校庭及びプールの放射性物質検査を順次実施
する予定です。

また小中学校のプールに関しては、千葉県薬剤師会検査センターによる簡易検
査を、6月2日に10校実施予定を皮切りとし、6月中に順次全学校の検査を行う予定
です。

以上の経緯と特に乳幼児に影響があるといわれていることから、各園それぞ
れの取り組みがなされていると思いますが、先日（6月1日）開催された松戸市私立
幼稚園連合会役員会では、討議の末、以下の松戸市各園の共通遵守事項を起案い
たしました。各園において、何よりも子どもたちの健康を守るために、当面の間
下記事項を遵守いただきたいと思います。

松戸市私立幼稚園連合会加盟園共通遵守事項

1、通常保育の中で次の事項に改めて注意、徹底をする。

園庭等の屋外での活動後等には、必ず手洗いうがいをする。

土や砂を口に入れないように注意する。

土や砂が口に入った場合には、よくうがいをする。

登園時、降園時に靴の泥を出来るだけ落とす。

土ぼこりや砂ぼこりが多いときには窓を閉める。

室内外の清掃を徹底する。

2、保育活動は、園児への心身の健康をいつも以上に勘案し、園運営をする。

3、1時間当たり1マイクロシーベルトに近い放射線量が松戸市によって確認された場合、その地点での活動を控える。

4、万が一、1時間当たり1マイクロシーベルトが検出された園があった場合については、松戸市を通し、除染費用のほぼ全額負担を国へ求めていく。

以 上、